

第74回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
第68回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

ミキプルーンスーパーカレッジバレー 2021 新型コロナウイルスの対応指針

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟

ミキプルーンスーパーカレッジバレー 2021

新型コロナウイルスの対応指針

目次

1. はじめに
2. 基本的な考え方
3. 大会期間前・大会期間の対応
4. 本プログラムでお示しする対応指針
5. 大会2週間以前から大会直前(～11/26)までの対応
6. エントリー変更について
7. 11/27～12/5までの対応
8. 大会当日の朝の対応
9. 大会終了後の対応

1. はじめに

大会を開催するにあたり、

- ・公益財団法人日本バレーボール協会による

「バレーボール競技に関わる大会等の再開時のガイドライン」

- ・全日本大学バレーボール連盟による

「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2021大会ガイドライン」

- ・感染者等の対応については「**新型コロナウイルス感染症の対応指針**」

以上3つの内容を踏まえ、大会参加者及び大会運営者は遵守すること。

- ・不測の事態、またはその他記載されていない内容については、
保健所の指示を仰ぎ、大会実行委員会にて判断する。

2. 基本的な考え方

感染症を広げない為には、体調不良を感じた際

①体調の変化を無視せず、チーム関係者へ相談すること

②体調不良の際、速やかにチーム関係者および運営者へ報告すること

以上のような個人及びチームでの判断・報告が大切になります。

感染症は、いくら予防していてもかかってしまう恐れがあります。

当連盟は、大会に参加する皆様の感染予防の取組を最大限考慮した上で、大会を開催します。**“感染者を増やさない”**ためにも、体調不良時には参加できない旨をお伝えください

2. 基本的な考え方

●本指針での濃厚接触者疑いの基準

- ・陽性者（陽性疑い者） 1 m以内で必要な感染予防なし（マスク着用等）で15分以上話したもの
- ・陽性者（陽性疑い者）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）がある。
- ・陽性者の分泌物や体液等に触れた可能性のあるもの

<例> 寮や宿泊施設で同室の人、トレーナー（マスクや手袋なしで処置したもの）・陽性者（陽性疑い者）と必要な対策をせずに飲食を共にしたもの

※必要な対策とは、距離（1人おき交互など）、食事時間、会話を慎む、食事前の手指消毒等をいう

●本指針での感染疑いを含む体調不良の基準

- ・ 大会前2週間以内、または期間中に37.5度以上の発熱があること
- ・ 咳・喉の痛み・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常等があること

2. 基本的な考え方

●次に該当する場合は大会当日の参加を控える

- ・体調がよくない場合
(発熱・咳・喉の痛み・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常等)
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察とされている国、地域の渡航または当該在住者と濃厚接触がある場合

●会場に来ても次に該当する場合は入場を拒否する

- ・検温の結果37.5度以上の発熱がある場合
- ・事前の「ONE TAP SPORTS」もしくはGoogleフォーム、健康チェックシートの提出がなされていない場合
- ・事前に入館申請がなされていない場合

●試合直前にチーム関係者・運営スタッフに症状が出た場合

- ・自宅もしくは遠征先に待機し、最寄りの医療機関及び保健所に連絡を入れ指示に従う

3. 大会関係者への取組

【大会期間前の対応】

・大会運営関係者・チーム関係者には

①大会 2 週前から2週後まで「**ONE TAP SPORTS**」(体調管理
チェック機能)の記録もしくはGoogleフォームでの記録

②大会 2 週前から**新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)**
のダウンロード、正常に動作するよう設定すること

※①が出来ない場合は、健康チェックシートにより管理
健康チェックシートにより管理しているものは、大会終了から大会2週後までに体調に
異常があれば当連盟に報告すること

以上による、体調管理を行うこととする

大会 2 週前の体温管理の確認が出来なければ**参加を認めない**

3. 大会期間前・期間中の対応

今回、（一財）全日本大学バレーボール連盟として、**感染症対策窓口**を開設しました。大会期間前・中・後の体調不良者、また感染症発症者（新型コロナウイルス、インフルエンザ等）が出た際、**報告窓口**としてご連絡ください。

（一財）全日本大学バレーボール連盟

感染症対策窓口 mail : health@juvf.jp
TEL : 080-7024-8970

感染者が確認された場合、チーム関係者は所属大学に連絡を入れること。

なお、会場および濃厚接触者には当連盟から早急に連絡を行うこととする。

4. 本プログラムでお示しする対応指針

大会2週前から大会2週後までに選手、チーム関係者、大会関係者もしくは同居家族から発熱を始めとする症状（感染疑い）が出た場合についての対応指針。

基本的には、大会会場の近隣の保健所、医療機関等に確認が取れることを想定しており、対応が間に合わない場合には自宅もしくは遠征先での待機とする。また、経過観察を行うこととする。

4. 本プログラムでお示しする対応指針

基本的な対応

- ・ 速やかに、チームの代表者及び学連員に報告し、保健所に連絡し指示に従うこと。

なおその際の移動は、出来る限り公共交通機関は使用せずに移動する

- ・ 病院への受診結果が出た際も 学連の専用窓口に診断結果を報告する



《学連連絡先》

感染症専用窓口

mail : health@juvf.jp

TEL : 080-7024-8970

5. 大会2週間以前から 大会直前(～11/26)までの対応 ①

●当該者個人の大会参加判断基準について

- ・陽性者および濃厚接触者と判明した者の

隔離期間が11/26までに終了していない場合は、大会出場は不可とする

●大会参加チームの参加判断基準について

- ・陽性者および濃厚接触者が複数名判明した場合、
大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する

※大会の参加が認められなかった場合

⇒・11/26までの対応：当該チームの所属する学連より推薦校変更可能
当該学連から推薦校の変更がなされない場合は
関東学連より補填する

5. 大会2週間以前から 大会直前(～11/26)までの対応 ②

● 陽性者が発生した場合

保健所の指示に従い、チーム内の濃厚接触者の有無、今後のチーム活動、自主隔離期間等について当連盟へ随時報告する

⇒ 11/14 までの対応

- ・ 自宅隔離期間(自主隔離期間)が11/26までに終了していない場合は、当該者の大会出場は不可とする

⇒ 11/15～11/26 までの対応

- ・ 陽性者が判明した場合、大会実行委員会の協議により当該者の大会参加について判断する

5. 大会2週間以前から 大会直前(～11/26)までの対応 ③

● 濃厚接触者が発生した場合

保健所に連絡し指示に従い、PCR検査を受ける
その途中経過も含め当連盟に随時報告する

⇒ 対応の仕方について

- ・ PCR検査の結果

陽性 ⇒ 5.②の対応を取る

陰性 ⇒ ・ 症状がなければ、医療機関または保健所の指示で復帰可能。
ただし復帰時期等に関して必ず当連盟に報告する

5. 大会 2 週間以前から 大会直前(～11/26)までの対応 ④

● 感染疑いを含む体調不良者が発生した場合

医療機関または保健所に連絡し指示に従い、当連盟に随時報告する

⇒ 対応の仕方について

- ・ PCR検査を受けた場合

陽性 ⇒ 5.②の対応を取る

陰性 ⇒ ・ 保健所の指示に従い、隔離期間終了後復帰する

※ただし、症状がおさまり、

医療機関または保健所の許可を得られれば復帰可能
(復帰時期等に関しても当連盟に報告する)

- ・ PCR検査を受けなかった場合

⇒ ・ 医療機関または保健所に指示を仰ぎ、
その判断により復帰する
(復帰時期等に関しても当連盟に報告する)

6. エントリー変更について

● 11/14までの対応について

- ・ 診断書の提出が可能な場合のみ当該者部分の[エントリー変更可](#)

⇒ 診断書のPDFを11/14までに感染症対策窓口に必ず送付すること

※診断書の原本は当連盟へ郵送(11/26必着)

● 11/15以降の対応について

- ・ 当該者部分の[エントリー変更不可](#)

7. 11/27～12/5までの対応 ①

● 陽性者・濃厚接触者が発生した場合

- ① 陽性者または濃厚接触者が判明した場合、大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する
- ② 個人の大会参加条件については
9. 大会期間中（11/27～12/5）における大会参加要件≪個人≫に則る
- ③ 保健所の指示に従い、随時当連盟へ報告する
- ④ 当該チームの参加が認められなかった場合、
当該チームは棄権とし、該当する試合を不戦敗とする
- ⑤ 大会期間中に発生した場合、相手チーム・補助役員・
審判員等の対応についても保健所の指示に従うものとする

※ 新型コロナウイルス感染症は検査結果が出るまでに1日～2日かかるため、大会期間外の11/27.28もこの期間に含めるものとする

7. 11/27～12/5までの対応 ②

● 感染疑いの症状を含む体調不良が判明した場合

- ① 当該者が当日来場していた場合、また来場していない場合についても
*医療機関で受診し、医師の指示に従い、当連盟へ報告する。
- ② 一緒に来場した選手等に関して、熱や味覚異常等の症状がない場合は
大会実行委員会の判断により当日の大会参加を認める。
- ③ **当日の朝・夜、翌朝の体温**を当連盟へ報告

37.5度以下の場合 ⇒ ・症状等無ければ大会**参加可能**

・症状が少しでもあれば*医療機関を受診

37.5度以上の場合 ⇒ ・*医療機関を受診

※症状が続く場合は保健所に連絡し、指示に従い当連盟に報告する

*受診する医療機関の選定に関しては必要に応じて連盟から斡旋しますのでご相談下さい

8. 大会当日の朝の対応

● 大会当日の会場の検温にて37.5度以上あった場合

- ① 再度接触型の体温計で測り直し、それでも37.5度以上の場合、
入場を拒否する
- ② そのまま医療機関を受診し、医師の指示に従い、連盟へ報告する。
- ③ 帰宅後また翌朝以降も熱が下がらない場合には、医療機関の指示に従う。
主務は、当該者について帰宅後と翌朝の体温を学連に報告すること。
- ④ 一緒に来場した選手等に関して、発熱や味覚異常等の症状がない場合は入場を認める。

陽性の場合

→ 7.① 陽性者が出た場合 に則り、大会実行委員会の協議によりチームの大会参加について判断する

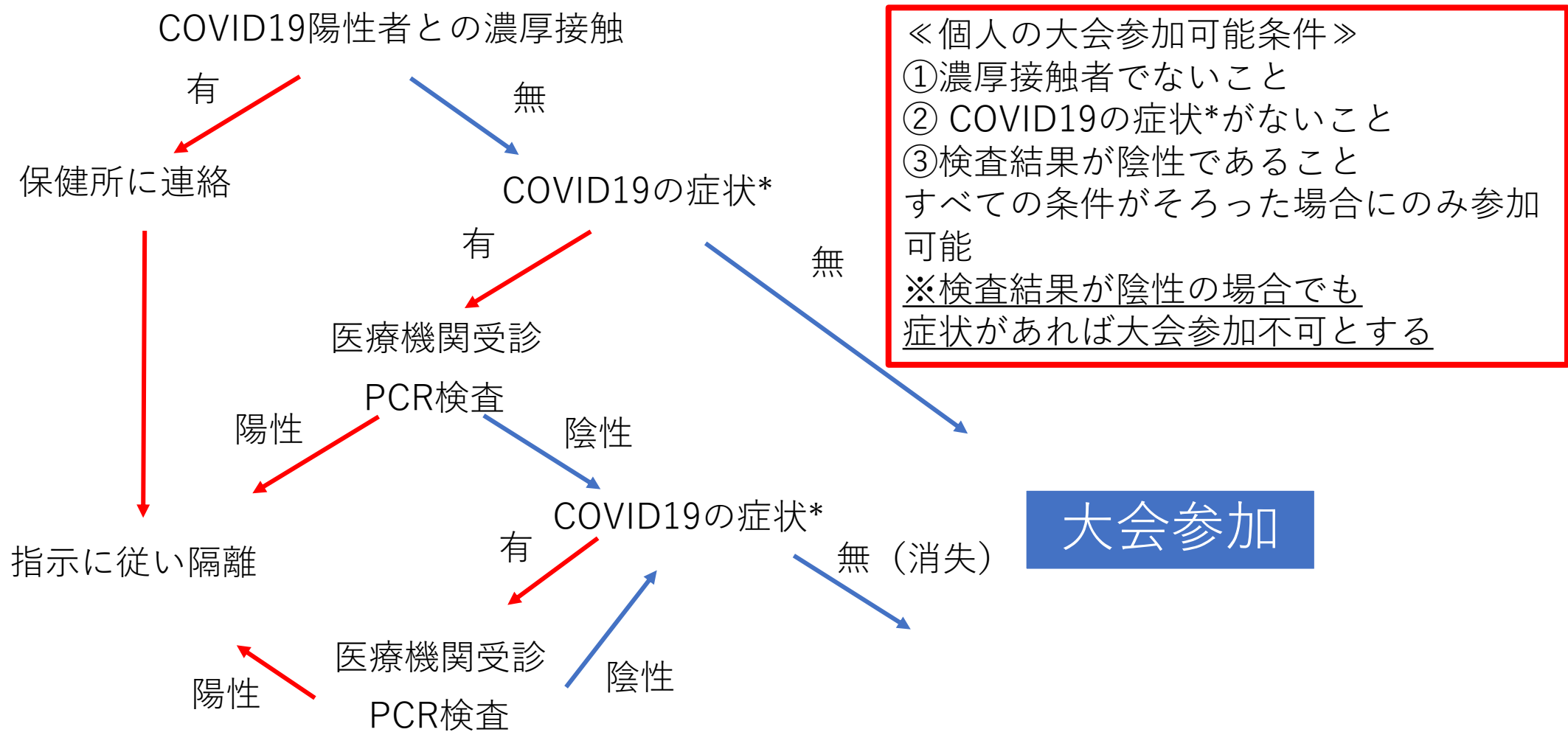
陰性の場合

→ 当該者のすべての症状がおさまり、陰性が確認された場合にのみチームの判断により復帰可能

※ 複数のチームから陽性者が出た場合、大会実行委員会の判断により大会中止とする可能性もある

9. 大会期間中（11/27～12/5）における大会参加要件 《個人》

*発熱（ ≥ 37.5 度）・咳・喉の痛み・倦怠感・味覚異常・嗅覚異常等



9. 大会終了後の対応

●大会終了後 2 週間

- ・ ONE TAP SPORTSもしくはGoogleフォームでの記録にて体調管理を行う
※健康チェックシートでの管理を行っているものは、自己管理用のシートを用いて体調管理を行う

●陽性者・濃厚接触者が出た場合

●体調不良者が発生した場合

- ① **保健所に必ず連絡**し、指示に従う
- ② 保健所からの指示内容も含め、当連盟へ随時報告する
⇒大会終了後の体調管理の記録を提出する
- ③ 陽性者が出た場合、保健所の指示に従い関係するチーム・補助役員・審判員等についても対応する

参考資料

- 厚生労働省

「新型コロナウイルスに関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3

- 公益財団法人日本バレーボール協会

「バレーボール競技に関わる大会再開時のガイドライン」

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/8abbc7d3dd799d920b16cb522595e3a.pdf>

- 一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

「新型コロナウイルス対策ガイドライン（第12稿）」

https://www.vleague.jp/common/pdf/covid19_guideline_12th_20211004.pdf